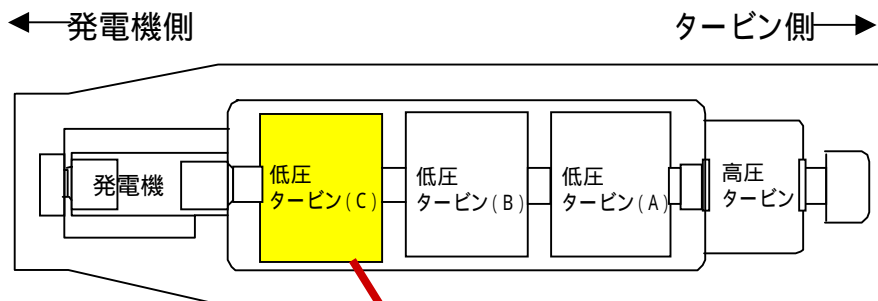


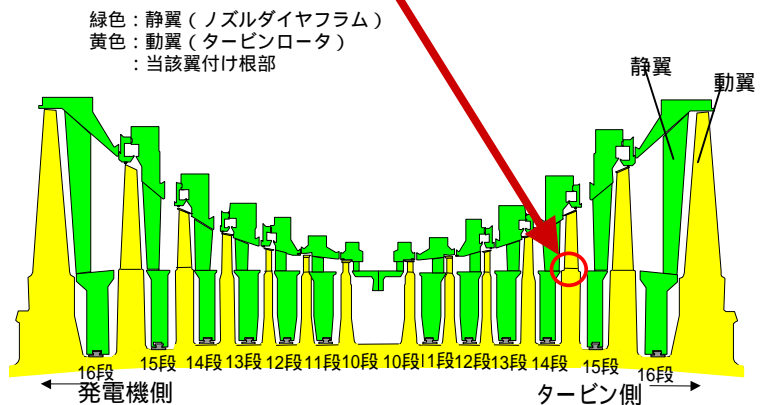
**区分：** \_\_\_\_\_

号機	7号機	
件名	タービンの詳細点検状況について	
不適合の概要	<p>定期検査中の当所7号機では、平成19年12月1日よりタービン本体の詳細点検を実施しており、点検の一環として、平成20年1月8日から1月19日までに各タービン[ 高圧タービン、低圧タービン(A)、(B)、(C) ] 動翼の翼付け根部全数を対象に超音波探傷試験<sup>*1</sup>を実施しました。</p> <p>当該試験の結果、低圧タービン(C)第14段のうち、1枚の動翼において、翼付け根部止めピン<sup>*2</sup>1本に欠陥を示す指示を確認したため、その後、詳細に調査するために動翼4枚(当該翼および当該翼と一体で固定されている動翼)を取り外し点検したところ、3月3日、当該止めピンで固定されている動翼1枚のフォーク部(翼付け根部)が一部破損していることを確認しました。</p> <p>*1：超音波探傷試験 材料の欠陥を検出するための非破壊検査であり、欠陥の有無により超音波の反射の仕方が違うことを利用して、ひびの判定やひびの深さを測定する。</p> <p>*2：翼付け根部止めピン 低圧タービン(C)第14段の翼(動翼)の付け根部は5本のフォーク型をしており、そのフォーク部を主軸側に差し込み、3本の止めピンで固定している。</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<p>&lt;安全上の重要度&gt;</p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p>&lt;損傷の程度&gt;</p> <p>法令報告 法令報告不要 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、新潟県中越沖地震との関連を含めて原因を調査します。</p>	

# 柏崎刈羽原子力発電所7号機 タービンの詳細点検状況(その1)



高圧9段, 低圧7段ダブルフロー



低圧タービン(C)



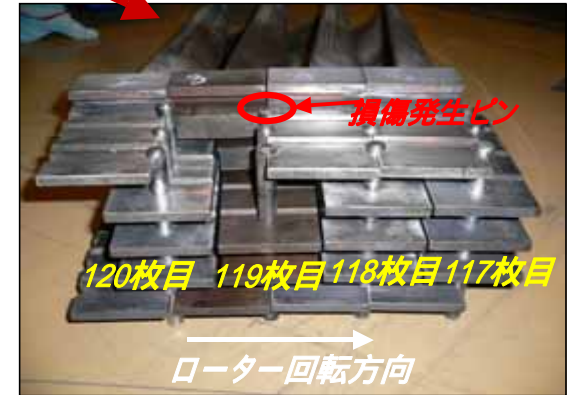
第14段タービン側動翼152枚(1車室あたり304枚)

# 柏崎刈羽原子力発電所 7号機 タービンの詳細点検状況 (その2)

シュラウド(動翼4枚を1群として固定)



取り出した動翼4枚



第14段タービン側動翼抜取部

固定ピン差込み穴部で損傷



フォーク健全部(118枚目)

フォーク損傷部(119枚目)

フォーク損傷部(119枚目)